

ながおか

建設だより

第85号

平成30年8月15日発行



一般社団法人
長岡市建設業協会

長岡市三和3丁目8番地
TEL 0258(32)3206代
sikyokai@nct9.ne.jp

編集 総務委員会
印刷所 北越印刷株式会社



〈写真撮影：総務委員会 田中祐紀彦 氏〉

長岡の宝



愛されて
81年



〈提供：長岡市広報課より〉

平成三十年度 定時総会を開催

平成三十年四月二十五日、会員七十八名の出席を得て、平成三十年度定時総会が「長岡建設会館」で開催されました。

定時総会では、平成二十九年度の事業報告に続き、平成二十九年度収支決算と平成三十年度の事業計画並びに収支予算についてそれぞれ承認されました。

また、任期満了となった役員の改選が行われ、現在役員の皆さんから引き続き担当していただくことで承認され、新しい事業年度がスタートしました。

事業計画

一 入札等制度改正への対応

最低制限価格の引上げや工事請負契約における設計変更ガイドラインの運用特定共同企業体(JV)の工事成績の取扱いの変更など、長岡市の入札制度や発注工事の施工上の問題点と課題に対して多くの項目で改善が進んでいます。

さらに、地域のインフラ整備と維持管理等を支えるとともに、災害の発生時には安全と安心の確保を担う「地域の守り手」として、関連する諸団体とも連携を図りながら長岡市に対し、建設投資額の確保と協会のさらなる活用、入札制度等の適正化について要望します。

建設業協会の使命と
目的を踏まえ、
地域社会の発展に
貢献してまいります

星 野 光 雄 会 長



協会は、平成25年12月に社団法人から一般社団法人へと移行して5年となり、公益目的支出計画に盛り込まれた事業を計画どおりに完了することができました。これからも協会の使命と目的をしっかりと踏まえ、社会資本の整備を通して、地域の安全、安心を守り、地域社会の発展に貢献してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

さて、入札や契約制度の改善について長岡市当局に対し要望活動を行うとともに、技術職員との意見交換会や検討会などを通して、長岡市発注工事の施工上の問題点や設計変更などにおいて、多くの項目で改善が進んでおります。しかし、依然として業界を取り巻く経営環境は大変厳しいものがあります。

このため、適正な予定価格の設定や適切な設計変更、繁忙期と閑散期、降雪時期などを踏まえた発注と施工時期の平準化などについて、引き続き要望活動を行ってまいります。

さらに、協会活動の原点に立ち返りまして、長岡市当局に対し、建設投資額の確保と協会のさらなる活用を求めてまいりたいと考えております。

今後とも、地域のインフラ整備と維持管理を担う「地域の守り手」として、関連する団体と連携を図りながら、担い手確保を含めた様々な課題の解決とともに、建設業の魅力向上に積極的に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。開会のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

二 公益事業等の取り組み

協会は、地域の経済と雇用を支え、災害時の応急復旧や除雪業務を通じて地域の安全と安心を担い、地域の活性化に積極的に取り組んでいる。

このため、これまで公益目的支出計画に盛り込まれた事業を引き続き実施するとともに、建設業界の実情や協会の活動内容について理解を深める。

さらに、若者の入職促進や定着といった担い手の確保育成対策をはじめ、週休二日制の実現、長時間労働の是正、現場で働く技術者の処遇を改善する働き方改革など、関係する諸団体と連携を図りながら対策を講じる。

①長岡市と締結している「災害応援協定」により、災害時の応急復旧と復旧支援事業に迅速に取り組むとともに、道路等の除雪、要援護世帯の屋根雪下ろし制度等に積極的に協力します。

②建設関係の講演会やセミナーを開催します。

③地域の祭りや行事における清掃活動等に参加し、環境美化に取り組めます。

④工事施工指導会や工事安全パト

ロールをはじめ、会員研修旅行、視察研修、技術検討会などを実施します。

三 研修事業

入札や契約制度の改正や工事施工上の課題、建設業界の新しい動きに対応するため、研修や研究事業に積極的に取り組み、会員の資質向上を図ります。

四 広報・情報提供

会員に対する情報提供を積極的に行うとともに、協会の活動状況や経営内容等について周知を図ります。

役員改選

役員の任期が満了となることから改選が行われ、現在の役員の皆さんから引き続き協会の運営を担当していただくことで承認されました。

会員表彰

定時総会では、表彰規程に基づき次の皆さんに表彰状を贈呈しました。

○満七十歳以上で、満十年以上会員として業界に功労のあった方



小山 道男

(渡長建設株式会社)

下園 修治

(株式会社吉原組)

山崎 嘉寛

(有限会社山秀)

長谷川 貞一

(株式会社長谷川工業)

深見 政英

(株式会社晴耕舎)

賑やかに情報交換

定時総会終了後、来賓として磯田達伸長岡市長をお迎えして「かも川別館」において懇親会を開催し、賑やかな情報交換の場となりました。



役員名簿

任期：平成32年度の定時総会まで

総務委員会			
会長・代表理事	星 野 光 雄	(株) 星 野 組	
副会長・会計・理事	細 川 恭 一	(株) 中 越 興	
理事	田 尻 正 敏	(株) 曙 建 設	
理事	安 藤 清 男	(株) 安 藤 組	
理事	大 石 保 太	(株) 大 石 組	
理事	本 田 浩 司	(株) 共 榮 建 設	
理事	高 田 裕 一	(株) 山 崎 組	
理事	吉 原 正 浩	(株) 吉 原 建 設	
監事	小 川 浩 弘	(株) 小 川 興 業	
監事	石 澤 雅	(株) 信 興 業	

平成30年8月15日現在

委員会の活動

平成三十年度は、協会活動の原点に立ち返り、総務委員会と技術委員会が中心となって、研修、親睦、社会貢献活動等の事業を展開しますので、皆さんの参加とご協力をよろしくお願いします。

総務委員会

総務委員会は、「ながおか建設だより」の発行をはじめ、会員研

修旅行や会員親睦ゴルフ大会、各地域の環境美化活動、建設産業セミナーなどを開催します。会員研修旅行は、新潟県建設業協会長岡支部と合同で、十月十八

日（木）から二十日（土）まで「平成三十年度「名古屋城・本丸御殿」視察と伊勢神宮参拝、名古屋三日間」を予定しています。

また、会員親睦ゴルフ大会は、八月三十一日（火）長岡カントリー倶楽部で開催します。

環境美化活動は、例年どおり各地域で開催されるまつりの清掃などに参加します。

さらに、当協会の使命と目的をしっかりと踏まえ、建設業の魅力向上と若年者の入職促進を始めた対策に関係する諸団体と連携を

技術委員会

図りながら取り組みを進めます。

技術委員会は、土木・建築工事施工指導会をはじめ、土木工事及び建築工事の安全パトロールや災害時の応援体制を確立するため「緊急連絡表」を作成します。

また、長岡市技術職員との意見交換会では、昨年同様に若手技術者による現場での様々な課題や改善に向けた対応などについて話し合いを行うことにしています。

主な活動の日程と内容

【全体】

月 日	項 目
4月25日	平成30年度定時総会
平成31年1月	新年会 (新潟県建設業協会長岡支部と合同)

【総務委員会】

月 日	項 目
8月15日	「ながおか建設だより」第85号発行
8月21日	会員親睦ゴルフ大会 (長岡カントリー倶楽部)
10月18日から 10月20日	会員研修旅行 (新潟県建設業協会長岡支部と合同) 平成30年度公開「名古屋城・本丸御殿」 視察と伊勢神宮参拝、名古屋3日間
平成31年1月15日	「ながおか建設だより」第86号発行
未定	建築セミナー
環境美化活動	
4月20日・23日	桜まつりの会場設営及び清掃(小国地域)
8月3日・4日	長岡まつり大花火大会の会場早朝清掃 (長岡地域)
10月	こしじ秋まつりの会場清掃(越路地域)
平成31年2月	とちお遊雪まつりの会場設営(栃尾地域)
平成31年3月	古志の火まつりの会場後片付け (山古志地域)

【技術委員会】

月 日	項 目
8月22日	土木・建築工事施工指導会
8月28日	建築工事安全パトロール
未 定	土木工事安全パトロール
11月	長岡市技術職員(長岡市建設技術協会)との意見交換会

※ 日程と内容は決まり次第ご案内します。

訂正

今年7月に発行しました『会員名簿』の中で、(株)新潟ザール工業の住所に誤りがありましたので、お詫びするとともに下記のとおり訂正をお願いします。

〈誤〉長岡市上前島町860-1

〈正〉長岡市高島町860-1

一般社団法人 長岡市建設業協会 委員会委員名簿

総務委員会			技術委員会		
委員長	(株)山崎組	高田裕司	委員長	共栄建設(株)	本田浩太
副委員長	(株)田辺建設	田辺永茂	副委員長	長岡土建工業(株)	櫻井正行
委員	(株)北澤工業	北澤晶	委員	(株)伊藤建設	伊藤芳也
委員	(株)多田組	多田博昭	委員	(株)大久保土建	五十嵐誠
委員	(株)田中組	田中祐紀彦	委員	(株)勝沼組	勝沼勝弘
委員	(有)山秀	小川直樹	委員	共和土建(株)	栗林隆夫
委員	吉原建設(株)	吉原正之	委員	(有)小室建設	小室功
委員	渡長建設(株)	清水弘之	委員	(株)西栄建設	西脇宏

(任期：平成30年6月1日から概ね2年)



長岡地域



小国地域

環境美化活動の実施

今年度の環境美化活動は、小国地域に引き続き、長岡地域で実施しました。

小国地域では、「桜まつり」の会場設営及び清掃活動に四月二十日と二十三日の両日とも四社八名が参加しました。

また長岡地域では、「長岡まつり大花火大会」会場の早朝清掃活動に八月三日は三十一社八十二名、八月四日は三十二社八十七名

が参加しました。

今後の予定としては、越路地域では、十月七日の「こしじ秋まつり」会場の清掃活動に、栃尾地域では平成三十一年二月三日に開催される「とちお遊雪まつり」の会場設営に、山古志地域では、三月九日に開催される「古志の火まつり」の清掃活動に、各地域の会員が参加する予定です。

会員の退会について

会 社 名	代表者名（所長・支店長）	退 会 日
中 山 建 設 株式会社	中 山 栄	平成30年3月31日

会員の異動について

代表者の変更

会 社 名	変 更 前	変 更 後	変 更 日
株式会社 北 澤 工 業	北 澤 和 博	北 澤 晶	平成29年10月28日
株式会社 中 元 組	野 上 隆	中 元 将 人	平成30年4月1日
渡 長 建 設 株式会社	小 山 道 男	清 水 弘 之	平成30年4月27日
有限会社 山 秀	山 崎 嘉 寛	小 川 直 樹	平成30年5月21日

会員数(平成30年8月15日現在)79社(正会員70社、準会員9社)

平成30年度

安全功労者表彰

5月24日、長岡建設会館において開催された、平成30年度建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会（田尻正敏分会長）の通常総会で、次の方々が安全功労者として表彰されました。

賞 名	会 社 名	氏 名
功労賞	(株) 曙 建 設	高 井 正 仁
	(株) 安 藤 組	佐 藤 昭 二
功績賞	共 榮 建 設 (株)	山 本 浩 司
	(株) 星 野 組	金 子 聡

賞 名	会 社 名	氏 名
職長賞	(株) 大 石 組	星 野 美 紀
	(株) 中 越 興 業	西 脇 文 生





(株)池田組 河田拓実 さん



(株)伊藤建設 布施貴寛 さん



越後交通工業(株) 田村大稀 さん



(株)大石組 (左から) 青木凌雅 さん
中田翔太 さん 渡辺智也 さん



三信興業(株) 原田凧人 さん



しなの産業(株) 樺澤翔太 さん



(株)晴耕舎 (左から) 武江咲希 さん
小林昴一 さん 佐藤祐樹 さん
五十嵐正和 さん 杉本昭夫 さん



(株)多田組 高橋優斗 さん



中越道路(株) 木村龍二 さん



(株)中元組 大塚昂哉 さん



(株)星野組
(左から) 平澤拓馬 さん 高野幹太 さん

サービスの向上

（株）北澤工業 北澤 晶

私たちは日々生活をしている中で様々なサービスを受けるわけですが、私はその時に気を付けているのが横柄な態度をとらないことです。サービスを提供している側の人が、いつかどこかで自分のお客さんになるかもしれないからと言うことではなく、サービスと対価は基本等価交換であると考えているからです。「お客様は神様です。」という言葉です。サービスの提供者側がそのくらいの気持ちで「おもてなし」をしようと言う内向きの表現であってお金を払う側が偉いわけではないと思うのです。ただしこれはサービス内容と対価が見合うかどうかの物差しが必要で、どんな物差しで測るのかによって価値が変わるし、市場の動向によっても価値が変わってくるのだと思います。

「すべての業種がサービス業である。」こんな言葉を最近耳にする機会がありました。私たちの建設業界においてはモノづくりであ

る第二次産業に該当するわけですが、確かに現代においてはモノづくりの技術競争ではなく、それ以外の顧客メリットを創出することが求められているという側面もあるように感じます。当然、新技術

の開発や特殊技能といった本来のモノづくりとしての役割や価値は残っていくわけですが、顧客満足という点で求められるものは、高品質、低価格が「当たり前」、となればプラスαのサービスで勝負となるわけです。しかし、そもそものサービス業では企業の存続のためにサービスの向上を強いられ、「働き手の手間や気遣い労働時間を酷使しても賃金水準が上がらない」という事態に陥っています。

昨年、二〇一七年は働き方改革元年と言われ、今年も多くの企業が働き方改革を意識し、様々な取り組みをされているかと思えます。社会のニーズに答え続けることが企業の使命ではありますが、働き手も社会の一部であり企業の宝でもあります。自社の社員はもちろんのことですが、自分がサービスを受けたときに自らの物差しで価値を図り、「感謝の言葉と共に対価を払う」という当たり前のことを

当たり前にできるような人間でありたいと思います。という事が書きたかったのではなく、サービスはサービスでも父親の大きな課題である「家族サービス」について思うことがあるのです。

私が子供の頃に求められていた父親の「家族サービス」と現代の父親が求められる「家族サービス」では大きく変わってきていると感じます。私が子供の頃は入学式や授業参観にお父さんが来ているなんてほとんど見たことがありませんでした。個人的には夕ご飯と一緒に食べる父親なんて都市伝説だと思っていましたし、休みの日には父親は朝早くからゴルフでいまして、母親からはゴルフも仕事だと聞かされていたので、テレビ放送の日本オリーブンで父親を探したりしていました。それが今や入学式に父親は出席して「当たり前」、運動会に父親が出ないなんて「有り得ない」なんて風潮があります。私は自分の父親と比較したら随分と家族サービスしているつもりなのですが、世のパパ達のサービス水準と比べるとかなり低いようで、顧客（家族）の満足が得られないのです。この顧客（家

族）の要求を満たさないと家に居づらくなり、またサービスが低下するという負のスパイラルに陥ってしまうのです。時代の要求事項の高まりは家族という小さなコミュニティにも波及してきているわけです。もう「ヨソはヨソ。ウチはウチ」という魔法の言葉が通用した時代は終わり、市場（世の良きパパ）の動向を注視しながら顧客（家族）のニーズに答えるために、家族サービスの向上に努めなければならぬのですから、私も経営者として働き方改革を進め社員の仕事での負担を減らしていくように努力をしていきたいと思っています。そして、このような変化の激しい社会の中で仕事と家庭そして趣味の時間を謳歌できるよう精進していききたいと思います。

